

Vellus Hair Cysts. 第298回日本皮膚科学会北陸地方会, 1982, 1, 金沢.

32) 小西可南, 小田島陽子, 池田和夫: Keratoacantoma を辺縁に見た Oral Florid Papillomatosis. 第300回記念日本皮膚科学会北陸地方会, 1982, 6, 金沢.

33) 小西可南: 円形脱毛症と ADCC. 第4回富山免疫アレルギー研究会, 1982, 11, 富山.

34) 檜垣修一, 池田和夫: Juvenile Xanthogranuloma の1例. 第301回日本皮膚科学会北陸地方会, 1982, 9, 富山.

35) 檜垣修一, 小西可南, 池田和夫, 長井 忠: Lymphomatoid papulosis. 第303回日本皮膚科学会北陸地方会, 1982, 12, 金沢.

36) 宮林千春, 小島 隆, 紺田健彦, 青山圭一, 柴田 貢, 市田隆文, 樋田清博, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博, 五十嵐良一, 諸橋正昭: 特異な皮膚病変を伴った成人B型肝炎の1例, 第17回日本肝臓学会西部会, 1982, 11, 名古屋.

37) 進藤泰子, 御子柴甫, 岡本暉公彦, 吉塚直伸, 高橋省三, 諸橋正昭: 陰囊に生じた Verruciform Xanthoma, 特に電顕的検索と脂質分析. 第81回日本皮膚科学会学術大会, 1982, 4, 東京.

38) 窪田叔子, 山田祐司, 諸橋正昭, 宮入宏之: 定型的な眼症状及び全身症状を呈した Fabry 病の女性例について. 第48回日本中部眼科学会, 1982, 12, 京都.

39) 五十嵐良一: 円形脱毛症のマスト細胞における Clq の沈着. 第4回富山免疫アレルギー研究会, 1982, 11, 富山.

小 児 科 学

教 授	岡 田 敏 夫
助 教 授	鈴 木 好 文
講 師	樋 口 晃 邦
講 師	谷 澤 隆 邦
助 手	五 十 嵐 隆 夫
助 手	嶋 尾 智 則
助 手	原 正 則
助 手	山 谷 真 己
助 手	浅 田 礼 子
文 部 技 官	永 田 仁 志

◆ 著 書

1) 岡田敏夫: 国試からみた小児科学. 502-524, 中外医学社, 1982.

2) 岡田敏夫, 鈴木好文: 細菌感染症. 「臨床医学示説」, 218-244, 近代医学出版, 1982.

3) 岡田敏夫: 微少血尿. 「1982今日の治療指針」, 706-707, 医学書院, 1982.

4) 岡田敏夫: 無症候性血尿・蛋白尿. 「図説臨床小児医学講座10」, 82-85, メジカルビュー社, 1982.

5) 岡田敏夫: 泌尿器疾患. 「必修小児科学第2版」493-511, 南山堂, 1982.

6) 岡田敏夫: 単糖類吸収不良症. 「先天性代謝病免疫病ハンドブック〜代謝19巻10号臨増〜」472-473, 中山書店, 1982.

7) 鈴木好文, 嶋尾 智, 岡田敏夫: 新生児期の腎機能の発達. 「小児科年鑑1982→1983」, 189-191, 診断と治療社, 1982.

8) 鈴木好文, 岡田敏夫, 石本二見男: 尿蛋白の分析〜体位性蛋白尿について〜. 「腎糸球体基底膜. 基礎と臨床の接点」, 109-113, 西村書店, 1982.

9) 鈴木好文, 小林 収: 先天性ネフローゼ症候群. 「代謝」19 (Suppl): 788-789, 1982.

◆ 原 著

1) 岡田敏夫, 鈴木好文, 谷澤隆邦, 小西 徹, 馬瀬大助: 学校検尿の問題点「異常例の検討」. 小児科 25: 435-442, 1982.

2) 岡田敏夫: 巻頭〜学校検尿の問題点〜. 腎と透析 12: 281-282, 1982.

3) 佐藤寛明, 紺田応子, 岡田敏夫, 諸橋正昭: 先天性強皮症の1例. 小児科臨床 35: 329-332, 1982.

4) 鈴木好文, 嶋尾 智, 岡田敏夫: 新生児期の尿中蛋白・アミノ酸排泄について〜その栄養法別検討〜. 小児科診療 45: 796-801, 1982.

5) 岡田敏夫: ネフローゼ症候群〜治療の選択と一般療法〜. 小児内科 14: 823-828, 1982.

6) 小西 徹, 佐藤寛明, 五十嵐隆夫, 鈴木好文, 岡田敏夫, 本間信治: 急性リンパ性白血病を合併した Down 症候群の1例. 小児科臨床 35: 1555-1559, 1982.

7) 小西 徹, 鈴木好文, 岡田敏夫, 伊藤 博: Congenital Unilateral Multicystic Kidney の1例. 小児科臨床 35: 1902-1906, 1982.

8) 稲場 進, 谷澤隆邦, 村上巧啓, 馬瀬大助, 市田路子, 樋口 晃, 鈴木好文, 岡田敏夫: 小児特発性血小板減少性紫斑病5症例に対する大量 γ -globulin 療法. Medical post graduates 20: 382-386, 1982.

9) 岡田敏夫, 谷澤隆邦: 検査と疾患〜無症候性

血尿～. 臨床検査 26:1034-1041, 1982.

10) 横沢隆子, 大浦彦吉, 中川輝昭, 岡田敏夫: アデニン長期投与による血清尿酸レベルの上昇と骨機能障害. Nippon Nogekagaku Kaishi 56:655-663, 1982.

11) 岡田敏夫: 小児の腎疾患. 検査・診断の世界 2:121-123, 1982.

12) 岡田敏夫, 鈴木好文: 小児尿路感染症の特殊性. 小児内科 14:1249-1255, 1982.

13) 和田義博, 他14名: Schönlein-Henoch 症候群の腎変化. 小児科臨床 35:2247-2256, 1982.

14) 柳原俊雄, 他14名: Schönlein-Henoch 症候群臨床補遺. 小児科臨床 35:2257-2263, 1982.

15) 岡田敏夫: 膿尿～図解病態生理～. 小児科 23:1435-1443, 1982.

16) 佐藤寛明, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫: メテナミン銀染色法による各種骨疾患の電顕所見について. 腎と透析 12:213-217, 1982.

17) Suzuki Y., Shimao S., Konishi T., Higuchi A. and Okada T.: Urinary concentrations of total protein, β_2 -microglobulin and amino acids in healthy newborn infants. Acta Paed. Jap. Overseas Ed. 23:326-332, 1981.

18) 佐藤寛明, 嶋尾 智, 小西 徹, 鈴木好文, 岡田敏夫: 原発性遠位尿管細管性アシドーシスの1例. 小児科診療 45:1977-1980, 1982.

19) Yokozawa T., Oura H. and Okada T.: Metabolic Effects of Dietary Purine in Rats. J. Nutr. Sci. Vitaminol. 28:519-526, 1982.

20) Oka N., Horie Y., Kosu K., Endo S., Takaku A., Sato H., Shimao S. and Okada T.: Two successfully treated newborn cases with acute subdural hematoma. Brain & Development. 4:61-, 1982.

21) 鈴木好文, 村上巧啓: 家族性甲状腺腫性クレチン症. 小児内科 14:51-54, 1982.

22) 紺田応子, 鈴木好文: 小児期マイコプラズマ肺炎に対するエプシンドライシロップの使用経験. 診療と新薬 19:1281-1285, 1982.

23) 鈴木好文: 小児の降圧剤の臨床. 小児科 23:1641-1646, 1982.

24) 谷澤隆邦, 谷 守正, 佐藤寛明, 樋口 晃, 岡田敏夫: Henoch-Schönlein 紫斑病性腎炎～蛍光抗体法所見～. 日本腎臓学会誌 24:787-789, 1982.

25) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 京谷征一, 武藤一彦: 気管支喘息児の気道過敏性におよぼす鍛練療法の効

果とその評価. 公害対策協力財団昭和55年度医学研究助成成果報告, 1982.

26) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 岡田敏夫, 寺西秀豊: 室内ダニの季節変動一喘息発作との関連について. 日本小児科学会雑誌 86:991-, 1982.

27) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 岡田敏夫, 寺西秀豊: 室内塵性ダニに関する研究. アレルギー 31:736-, 1982.

28) 寺西秀豊, 加須屋 実, 青島恵子, 加藤輝隆, 五十嵐隆夫: ナシ果樹園作業者における花粉症に関する疫学的調査. 産業医学 24:465-470, 1982.

◆ 学会報告

1) 樋口 晃, 谷 守正, 稲場 進, 馬瀬大助, 谷澤隆邦, 岡田敏夫: 学校検尿にて発見されたMPGN (TypeII) の二症例. 第12回日本腎臓学会西部部会, 1982, 5, 熊本.

2) 岡田敏夫, 鈴木好文, 小西 徹, 馬瀬大助: Tubular Proteinuria を示した15症例の検討. 第12回日本腎臓学会西部部会, 1982, 5, 熊本.

3) 谷澤隆邦, 谷 守正, 稲場 進, 樋口 晃, 岡田敏夫: 間質に泡沫細胞を認めた9症例. 第12回日本腎臓学会西部部会, 1982, 5, 熊本.

4) 樋口 晃, 谷 守正, 稲場 進, 馬瀬大助, 谷澤隆邦, 岡田敏夫: MPGN (TypeII) の2症例. 第18回日本小児腎臓病研究会, 1982, 6, 富山.

5) 稲場 進, 谷澤隆邦, 樋口 晃, 岡田敏夫: 膜性腎症の4症例. 第18回日本小児腎臓病研究会, 1982, 6, 富山.

6) 佐藤寛明, 萩野谷和裕, 谷 守正, 小野崎通彦, 岡村敏弘, 樋口 晃, 谷澤隆邦, 岡田敏夫: 紫斑病腎炎における基底膜の変化. 第18回日本小児腎臓病研究会, 1982, 6, 富山.

7) 鈴木好文, 岡田敏夫, 嶋尾 智, 小西 徹: 体位性蛋白尿の発生機序に関する研究. 第18回日本小児腎臓病研究会, 1982, 6, 富山.

8) 岡田敏夫, 鈴木好文, 市田落子, 村上巧啓: 小児腎疾患における尿中 Mg, Zn 排泄について. 第18回日本小児腎臓病研究会, 1982, 6, 富山.

9) 谷澤隆邦, 稲場 進, 山谷真己, 谷 守正, 樋口 晃, 岡田敏夫: 間質に泡沫細胞を認めた10症例. 第18回日本小児腎臓病研究会, 1982, 6, 富山.

10) 谷 守正, 谷澤隆邦, 稲場 進, 原 正則, 樋口 晃, 鈴木好文, 岡田敏夫: 糸球体と酸性ムコ多糖類 (腎生検組織におけるコロイド鉄染色の臨床的有用性). 第18回日本小児腎臓病学会, 1982, 6, 富山.

11) 嶋尾 智, 鈴木好文, 小西 徹, 岡田敏夫:

新生時期における尿中蛋白分析について～第2報～低分子蛋白と高分子蛋白の動態について。第18回日本小児腎臓病研究会，1982，6，富山。

12) 原 正則，谷沢隆邦，岡田敏夫：ラット実験的膜性腎炎からヒト膜性腎症の発症機序を考える。第18回日本小児腎臓病研究会，1982，6，富山。

13) 谷沢隆邦：～シンポジウム～小児糸球体腎炎の治療・膜性増殖性糸球体腎炎の治療。第18回日本小児腎臓病研究会，1982，6，富山。

14) 五十嵐隆夫，村上巧啓，岡田敏夫：気管支喘息における気道過敏性の検討。第18回中部日本小児科学会，1982，8，名古屋。

15) 小西 徹，紺田応子，岡田敏夫，須藤成章：線状皮脂腺母斑症群 (Linear nevus sebaceous syndrome) の2例。第18回中部日本小児科学会，1982，8，名古屋。

16) 市田落子，鈴木好文，岡田敏夫：Di George 症候群の1症例。第18回中部日本小児科学会，1982，8，名古屋。

17) 谷沢隆邦，山谷真己，稲場 進，谷 守正，樋口 晃，岡田敏夫：乳児期腎不全を呈した3症例。第4回小児腎不全研究会，1982，9，箱根。

18) 京谷征一，市田落子，谷沢隆邦，樋口 晃，岡田敏夫：慢性腎不全患児 (透析児5例を含む) の脳症について。第4回小児腎不全研究会，1982，9，箱根。

19) 谷沢隆邦，馬瀬大助，谷 守正，山谷真己，原 正則，樋口 晃，岡田敏夫：小児期 IgA 腎症の臨床病理組織学的検討 (電顕所見を加味した分類による比較検討)。第25回日本腎臓学会総会，1982，11，東京。

20) 鈴木好文，嶋尾 智，岡田敏夫：体位性蛋白尿に関する研究～起立前弯負荷による尿成分の変動について～(第2報)。第25回日本腎臓学会総会，1982，11，東京。

21) 嶋尾 智，鈴木好文：新生児期における尿中蛋白分析について～尿中低分子蛋白と高分子蛋白の動態～。第18回日本新生児学会，1982，6，横浜。

22) 平谷美智夫，紺井正春，武藤一彦，伊藤 茂，押田喜博，五十嵐隆夫：経口用気管支拡張剤に含まれる賦形剤により急性蕁麻疹及び扁平苔癬が出現した1例。第19回小児アレルギー研究会，1982，11，札幌。

23) 五十嵐隆夫，足立雄一，岡田敏夫，村上巧啓，吉住 昭：アレルギー学的検査のスコア化とその臨床的検討。第19回日本小児アレルギー研究会，1982，11，札幌。

24) 村上巧啓，吉住 昭，足立雄一，五十嵐隆夫，岡田敏夫：気管支喘息における吸入試験の標準化案に関する検討。第19回小児アレルギー研究会，1982，11，札幌。

25) 五十嵐隆夫，村上巧啓，岡田敏夫，寺西秀豊：室内塵性ダニに関する研究。第32回日本アレルギー学会，1982，10，久留米。

26) Teranishi H., Kasuya M., Aoshima K., Kato T. and Ikarashi T.: Epidemiological study of Pollenosis among pear farmers XI. INTERNATIONAL CONGRESS OF ALLERGOLOGY & CLINICAL IMMUNOLOGY, LONDON 17-22, 1982.

27) 小西 徹，馬瀬大助，鈴木好文，岡田敏夫，京谷征一：Lowe 症候群の一例。第一回北陸小児神経懇話会，1982，2，金沢。

28) 五十嵐隆夫，樋口 晃，岡田敏夫：Angio-Immuno-blastic lymphadenopathy とされる3才男児例。第6回新潟造血管腫瘍研究会，1982，3，新潟。

29) 鈴木好文，岡田敏夫，石本二見男：尿蛋白の分析～体位性蛋白尿について～。第3回日本腎臓学会新潟ゼミナー，1982，6，新潟。

30) 市田落子，京谷征一，松島昭広，押田喜博，木村晶子，谷 守正，谷沢隆邦，岡田敏夫：頻回再発性ネフローゼ症候群における Endoxan Chlorambucil 療法。第36回北陸医学会総会，1982，9，富山。

31) 五十嵐隆夫，足立雄一，村上巧啓，岡田敏夫：慢性反復性咳嗽を主訴とする患児にみられるアレルギー1素因の検討。第36回北陸医学会総会，1982，9，富山。

32) 樋口 晃，馬瀬大助，谷 守正，原 正則，山谷真己，谷沢隆邦，岡田敏夫，本間一正，江本清和，河野 晃：小児期 IgA 腎症の臨床病理学的検討。第36回北陸医学会総会，1982，9，富山。

33) 市田落子，松井美和，鈴木好文，岡田敏夫，紺田健彦，紫田 貢，市田隆文，井上恭一：D-ペニシラミンが著効を示したウイルソン病の1例。第3回富山消化器病研究会，1982，10，富山。

34) 原 正則，樋口 晃，小西 徹，浅田礼子，岡田敏夫：低リン血症性くる病の2症例。第4回北陸骨 Ca 代謝談話会，1982，11，金沢。

35) 岡田敏夫，窪田博道，谷沢隆邦，山谷真己：当科における学校検尿異常者の取扱いとその成績について。第4回富山県小児科集談会，1982，11，富山。

36) 五十嵐隆夫：川崎病とダニ分布。第4回富山

県小児集談会, 1982, 11, 富山.

37) 足立雄一, 五十嵐隆夫, 鈴木好文: 家族内発生を見た結節性甲状腺腫の一例. 第4回富山県小児科集談会, 1982, 11, 富山.

38) 押田喜博, 五十嵐隆夫: 薬剤賦形剤による扁平苔癬の1例. 第4回富山県小児科集談会, 1982, 11, 富山.

39) 松井美和, 嶋尾 智, 小西 徹: Acyclovir が有効であった West 症候群合併水痘の1例. 第4回富山県小児科集談会, 1982, 11, 富山.

40) 浅田礼子, 樋口 晃: 胸水貯留をきたしたマイコプラズマ肺炎の1例. 第4回富山県小児科集談会, 1982, 11, 富山.

41) 谷 守正, 足立雄一: Check Valve 症状を呈した気管支腺腫の1例. 第4回富山県小児科集談会, 1982, 11, 富山.

42) 紺田応子, 市田路子: 肺膿瘍の1例. 第4回富山県小児科集談会, 1982, 11, 富山.

43) 馬瀬大助, 本間一正, 江本清和: 典型的被虐待児症候群の一例. 第4回富山県小児科集談会, 1982, 11, 富山.

44) 五十嵐隆夫, 村上巧啓: 反復性咳嗽を主訴とする患児のアレルギー学的検索. 第3回富山県小児科集談会, 1982, 7, 富山.

45) 原 正則, 谷 守正, 小西 徹: 神経性食思不振症の2例. 第3回富山県小児科集談会, 7, 富山.

46) 谷 守正, 嶋尾 智: Romamo-Ward 症候群の1家系. 第3回富山小児科集談会, 1982, 7, 富山.

47) 嶋尾 智, 鈴木好文, 原 正則: 呼吸障害を呈した新生児疾患の検討. 第3回富山県小児科集談会, 1982, 7, 富山.

48) 紺田応子, 小西 徹: Kimmel-Azrin 変法による夜尿症の治療. 第3回富山県小児科集談会, 1982, 7, 富山.

49) 谷沢隆邦, 谷 守正, 馬瀬大助, 山谷真己, 樋口 晃, 岡田敏夫, 市田路子, 京谷征一: 透析療法を施行した小児期腎不全の5症例. 第4回富山県腎疾患人工透析研究会, 1982, 6, 富山.

50) 山谷真己, 谷沢隆邦, 樋口 晃, 岡田敏夫: 血漿交換療法にて症状の改善を認めた SLE 腎症の一例. 第5回富山県腎疾患人工透析研究会, 1982, 11, 富山.

51) 馬瀬大助, 谷沢隆邦, 江本清和, 本間一正, 岡田敏夫: 尿所見をほとんど示さなかった急性糸球体腎炎の一症例. 第10回北陸腎疾患懇話会, 1982,

11, 金沢.

52) 鈴木好文: 肥満症. 第44回富山小児科懇話会, 1982, 5, 富山.

53) 五十嵐隆夫: 川崎病患者発生数と屋内ダニ数. 第4回富山免疫アレルギー研究会, 1982, 11, 富山.

54) 五十嵐隆夫, 永田仁志, 嶋尾 智, 小西 徹, 岡田敏夫, 寺西秀豊: 川崎病患者発生数と屋内ダニ数. 第2回川崎病研究会および「川崎病の成因」に関するワークショップ, 1982, 10, 久留米.

55) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 岡田敏夫: 気管支喘息児の気道過敏性に関する研究(第2報)~治療法別・発作頻度別にみた気道過敏性の変動~. 第9回北陸アレルギー懇話会, 1982, 11, 金沢.

56) 五十嵐隆夫: 気管支喘息の気道過敏性におよぼす鍛練療法の効果とその評価. 財団法人公害対策協力財団「慢性閉塞性肺疾患の治療効果に関する研究」の研究成果発表会, 1982, 8, 東京.

精神神経医学

教 授	遠 藤 正 臣
助 授	中 村 一 郎
講 師	清 水 昭 規
講 師	細 川 邦 仁
助 手	数 川 悟 勉
助 手	藤 井 勉
助 手	松 原 隆 俊
助 手	江 上 峰 子

◆ 著 書

1) 遠藤正臣: 主要人名解説: ザーケル, マンフレット; セリエ, ハンス; ツェルレッティ, ウーゴ; メドゥナ, ラディスラウス・フォン; モニス, エガス. 「現代精神医学大系, 別巻: 総索引・総目次・主要人名解説」懸田克躬他編, 305, 313, 314, 339, 340-341, 中山書店, 1982.

2) 遠藤正臣: 電気ショック療法およびその他の身体療法. 「現代の精神医学」大原健士郎他編, 447-453, 金原出版, 1982.

3) 遠藤正臣: 精神科救急医療. 「現代の精神医学」大原健士郎他編, 465-477, 金原出版, 1982.

◆ 原 著

1) Endo M., Shimizu A. and Nakamura I.: Laterality differences in recognition of Japanese and Hangul words by monolinguals and bilinguals. *Cortex* 17(3): 391-400, 1981.